科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
総合評価学実習	後期	2 学年	必修	6 単位	270 h

担当教員名	メールアドレス	オフィスアワー
◎**吉松竜貴**，高杉潤，平野康之，宇都宮雅博，河辺信秀，大竹祐子，中村睦美，**河江敏広**，小泉圭介，**遠藤悠介**,作山晃裕，鬼塚勝哉，**杉山聡**	tatsuki.yoshimatsu@tohto.ac.jp	メール、teams で随時

授業の概要

1 月第 3 週~3 月第 1 週までの 6 週間で、医療機関に出向いて、現職の理学療法士（臨床実習指導者）に付き従い、実際の患者に対する診療（リハビリテーション）の一部に参加する。なお、診療参加は、診療技術ごとに、見学→共同実施（模倣）→監視下での実施の順に進行する。

キーワード	到達目標
診療参加型臨床実習 理学療法評価 医療面接・医学情報の収集と解釈 リスク管理 検査・測定項目の列挙 検査・測定の実施と結果の記録 収集した情報の統合と解釈 ゴール設定・プログラム立案 臨床的思考過程・臨床推論	① 学内で学習した人体に関する知識やリハビリテーション対象疾患の病態に関する知識に関する理解を深める。 ② 理学療法評価に関わる様々な側面を実際に体験し、障害者に対して理学療法評価を実施する際の配慮について経験を重ね、理学療法評価に関するより実践的な技術を身につける。 ② 現職者の理学療法評価に関する臨床的思考のトレースを繰り返し、それを応用して、自分なりの推論を表出できる。 ③ 医療従事者としてふさわしい礼節、態度、コミュニケーション能力を獲得する。

学習内容

理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ，理学療法評価学演習で学習した知識や技術をもとに，臨床実習指導者の指導・監督の下，対象者から情報を収集し，必要な検査測定を実施し，それらを解釈・統合しゴールや治療プログラムを立案するまでの理学療法評価に関する一連の過程を体験する。

受講要件

２年前期終了までに開講される必修の専門科目および専門基礎科目の全ての単位を修得していること。

評価

レポート	その他	合計
0%	実習への参加状況とその内容 100%	100%

教員からのメッセージ

理学療法評価に関わる授業はもとより、人体に関する授業やリハビリテーション対象疾患の病態に関する授業など、これまでに学んだ全ての知識を実際の臨床場面でどのように生かすのかを学ぶ重要な機会となります。しっかりと事前の準備を行って臨床実習に臨んでください。